

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

対魔忍アギ
落書きイラスト集③
〜決戦アリーナ〜





【元部下】

「がっはっはっはっ♪随分と立派なボテ腹になったもんだ♪
さすがは俺様の改造したハイブリット精子♪
……この様子じゃ三つ子……いや四つ子かな？(笑)」

SKIP

EXIT

うん……

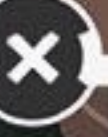
はっはっはっはっ

ふるふる



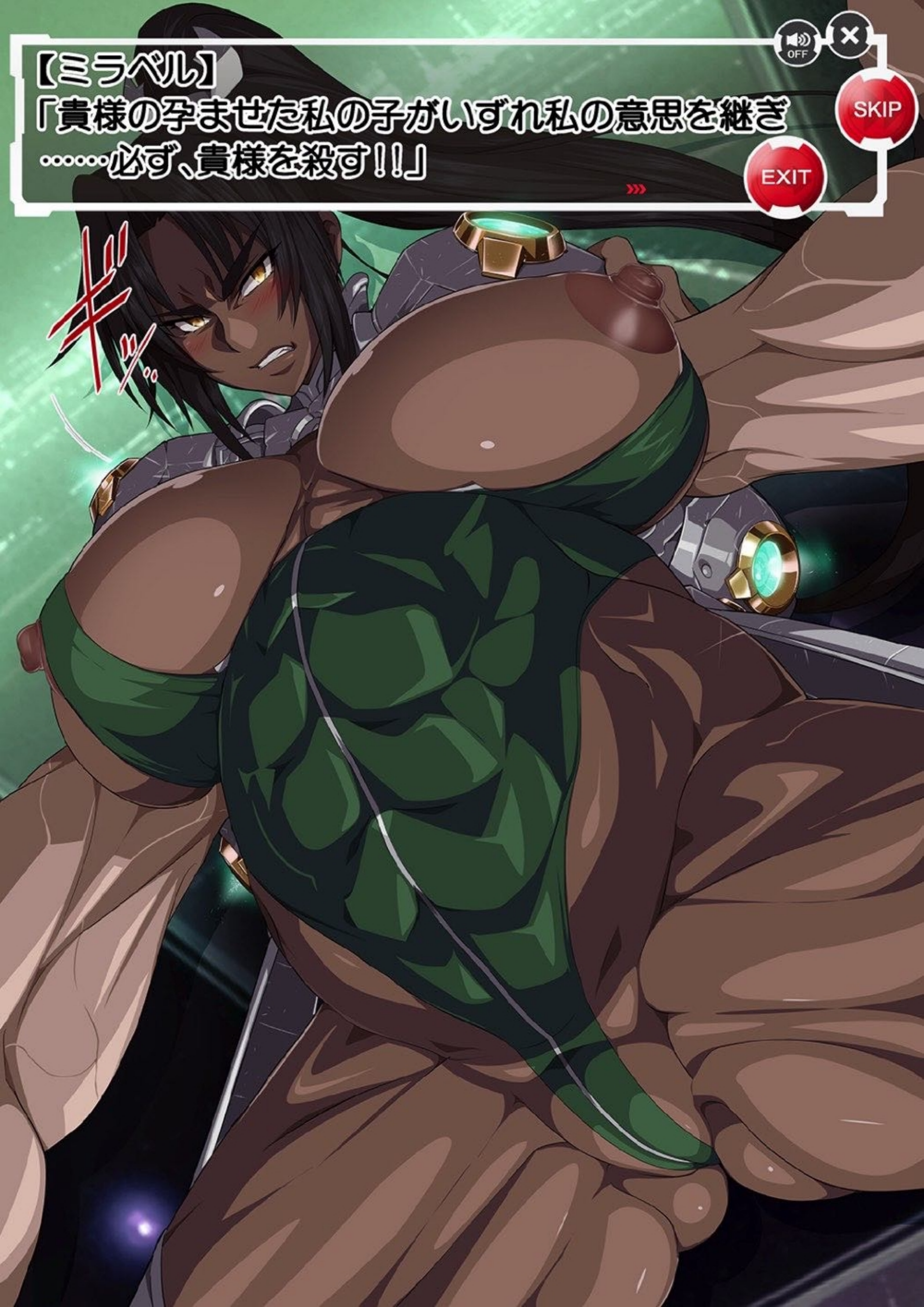
【ミラベル】

「貴様の孕ませた私の子がいずれ私の意思を継ぎ
……必ず、貴様を殺す!!!」



SKIP

EXIT





【元部下】

「くっくっくっ……随分と勇ましいセリフだが……
ちよつと前までベッドで『牝ネコになっひやううう……っ♪』とかアへり
まくってたパーザン女に凄まれてもなあ♪」

【ミラベル】

「うう……!! 言うなっ!!……」

SKIP

EXIT





【男兵士達】

「隊長!!前置きはいいつスよ!!!」

【男兵士達】

「さっさと始めて下さいいつス!!」

「こっちはもうイライラしてるんスから!!!」



SKIP

EXIT





【元部下】

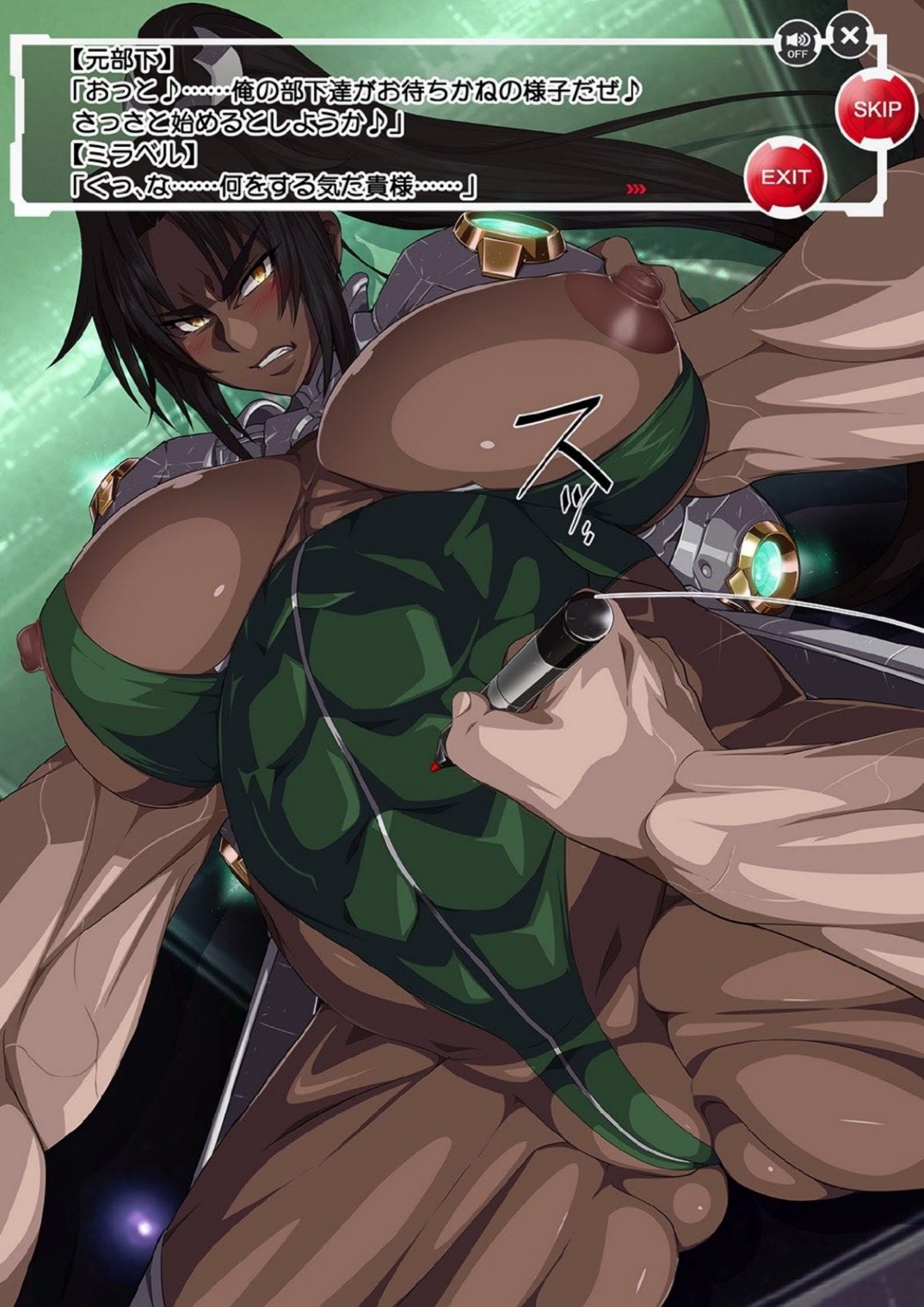
「おっと♪……俺の部下達がお待ちかねの様子だぜ♪
さっさと始めるとしようか♪」

【ミラベル】

「くっ、な……何をやる気だ貴様……」

SKIP

EXIT





SKIP

EXIT

【元部下】

「なあ～に、ちよつとした兵士達のガス抜きだよ♪
少しの時間お前を使って楽しんでもらおうと思ってな♪」

「カキカキ」





【ミラベル】

「……ば、馬鹿なっ!!
腹には……貴様の仔も居るのだぞ?
何かしよつものなら……」

SKIP

EXIT





【完部下】

「これでよしつ.....と.....♪」

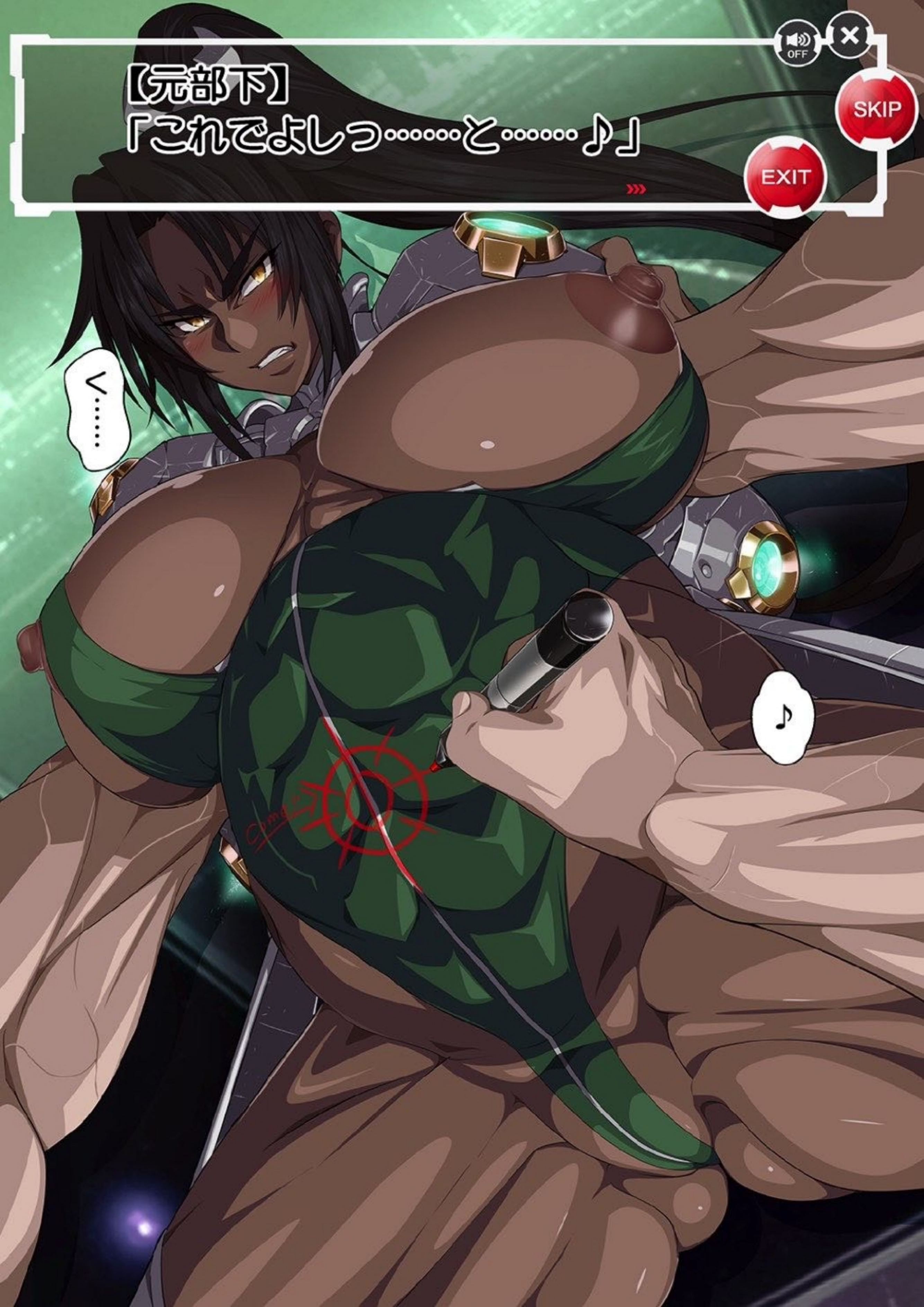
SKIP

EXIT



∨
.....

♪



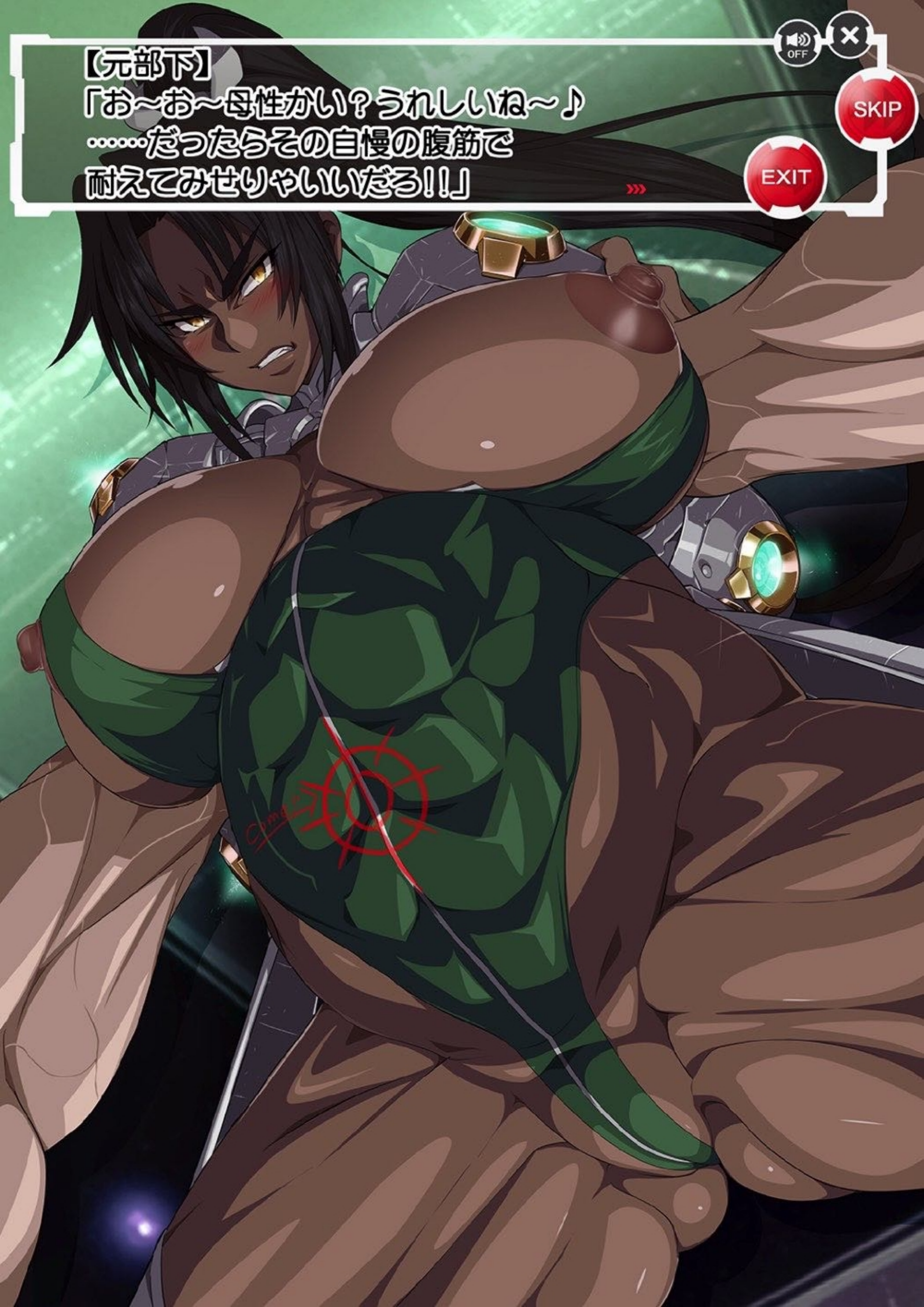


【元部下】

「お～お～母性かい？うれしいね～♪

……だったらその自慢の腹筋で

耐えてみせりゃいいだろ!!!」





【元部下】
「オラア!!!」
「ぼくらっ!!」

SKIP

EXIT





【ミラベル】
「くひっっ!!」

【元部下】

「やっぱりいいなあ、元隊長のバッキバッキ腹筋は♪
……外はゴム繻の柔らかさで胎の中はタイヤのゴムみてえに鍛えて
やがる♪」 「ポムポム……」

おっぱい

おっぱい





【ミラベル】

「き……貴様……正気か……腹の仔も……ただではすまんぞ……」

【元部下】

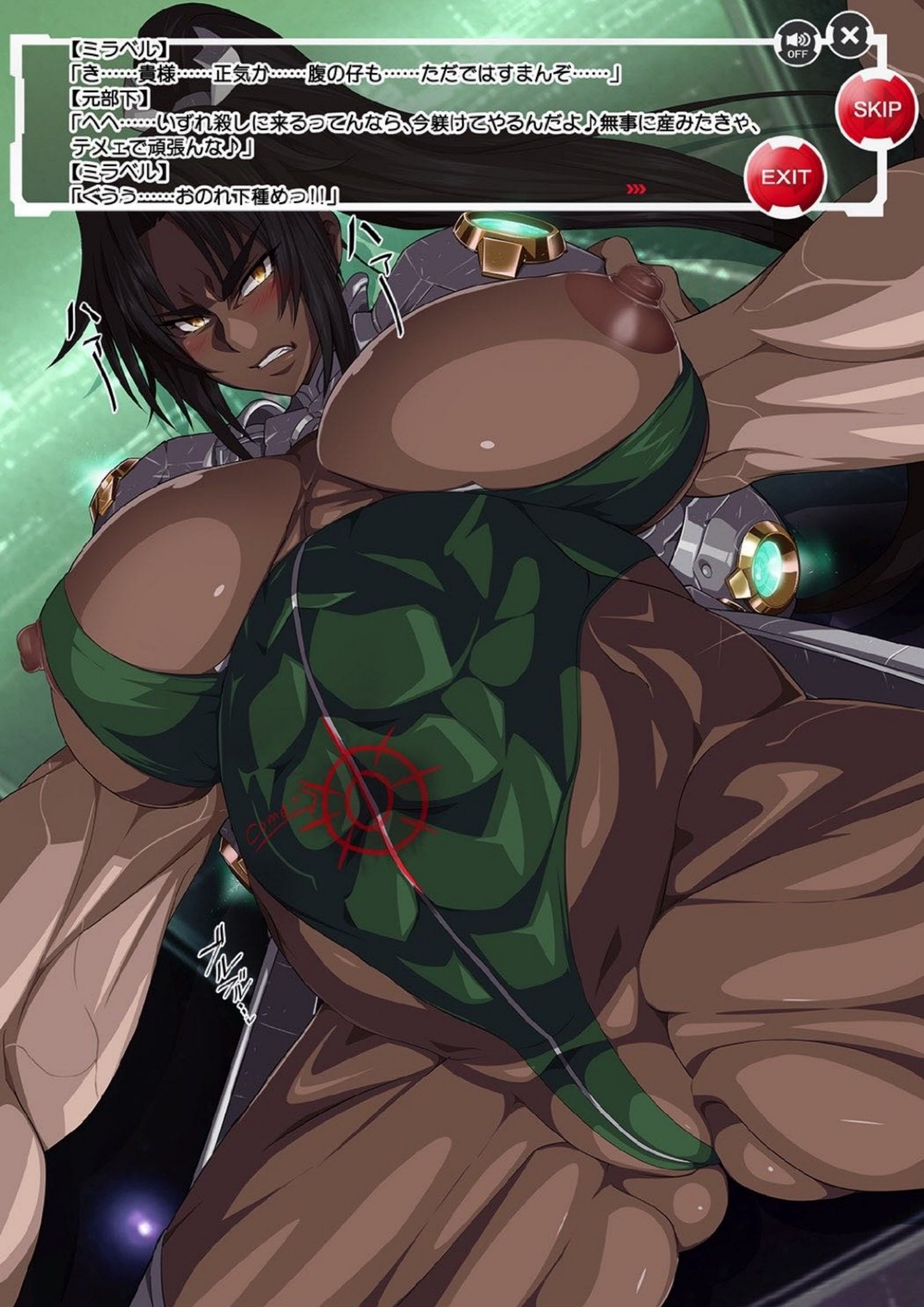
「へへ……いずれ殺しに来るってんなら、今饅けてやるんだよ♪無事に産みたきや、
テメエで頑張んな♪」

【ミラベル】

「くう……おのれ下種めっ!!!」

SKIP

EXIT





「ぼくっ!!ドドカッ!!ドゴッ」

【ミラベル】

「くっ!!」

!!

SKIP

EXIT





【男兵士達】

「俺達の事も忘れんな!!今日はたっぷりサンドバックにしてやるぜ!!」

「おら!!おら!!」

【ミラベル】

「くっさっさっ!!やっ……やめるホントに……がは!!はしゅい……しゅる……♡」

SKIP

EXIT





【元部下】

「お？ やっと効いて来たみたいだな♪」

【ミラベル】

「??」

SKIP

EXIT



「!」...♡

「!」...♡





【元部下】

「へへ……俺様も鬼じゃないんだぜ♪さっきここに連れて来る時に
たっぷりカスライザー入りの陣痛促進薬をあちこちに打ってやったんだよ♪」

【ミラベル】

「きひやまあ……?あれは栄養剤だと……?」

SKIP

EXIT





SKIP

EXIT

【元部下】

「すまん♪あれは嘘だ☆」





「.....ドゴゴッズゴオツ☆」

【ミラベル】

「~~~~♡~~~~♡」

SKIP

EXIT



【元部下】

「この激痛だって今じゃ数千倍もの快感に変わっちまってるんだろ？
そんなイキ地獄の真ん中で腹パン喰らって俺様のガキを産みな!!」

OFF



SKIP

EXIT



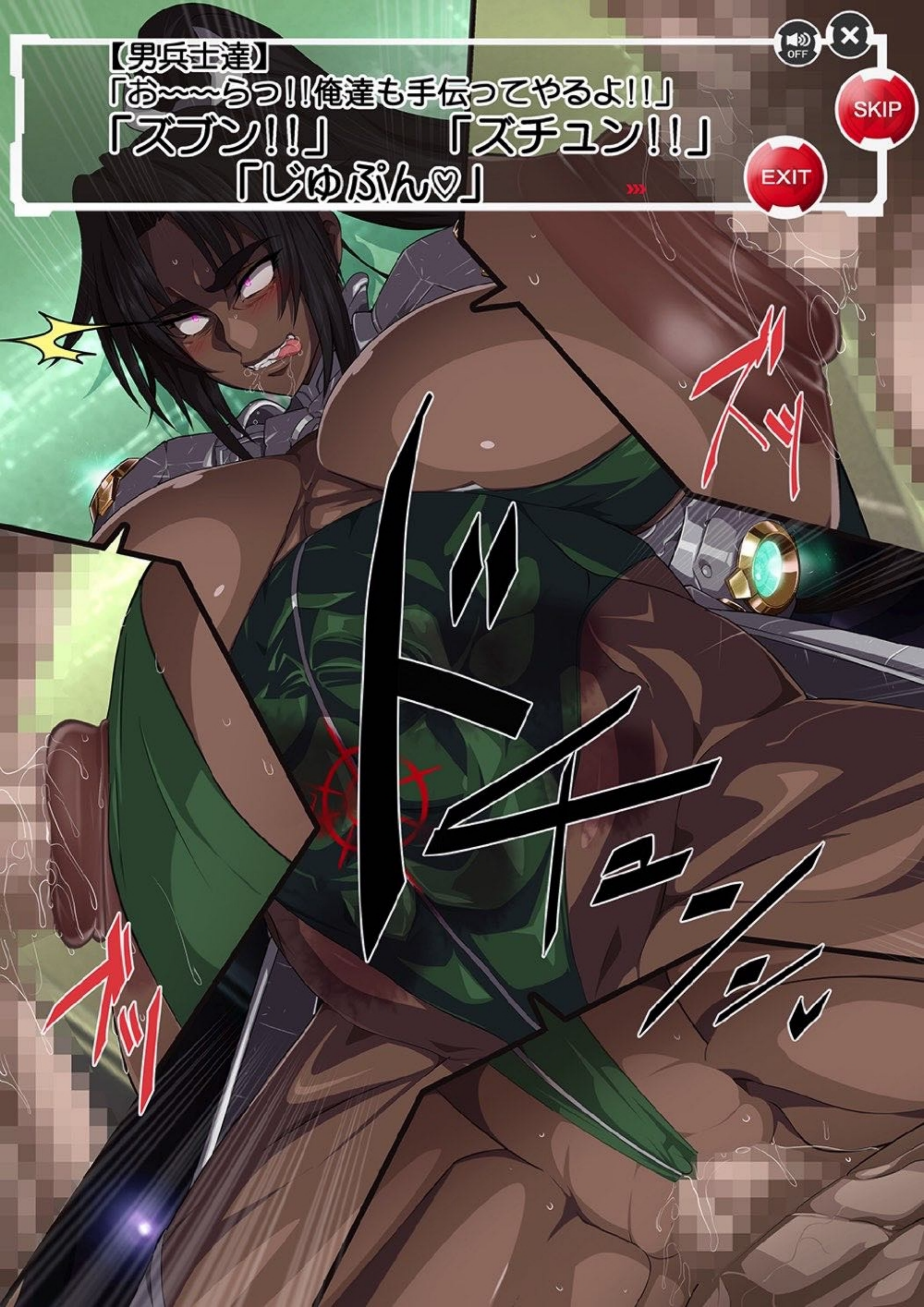
クククククク

【男兵士達】

「お〜らっ!!俺達も手伝ってやるよ!!」

「ズブン!!!」 「ズチュン!!!」

「じゅぽん♡」





【男兵士達】

「これなら産まれてすぐに新鮮なミルクが飲ませられるぜ!!
おらっ!!
ピストンピストン~♪」

SKIP

EXIT

♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡

♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡

ミ
ユ
キ
キ

ミ
ユ
キ
キ

ク
ツ
ク

ク
ツ
ク





【ミラベル】

「らめだ……ごんらごと……♡ごんにや気持ちで出産したら……この子見るたび
思い出しちゃう……♡ この子にミルクあげるたびに子宮が疼く変態ママに
なっちゃう♡♡♡♡♡」

【男兵士達】

「おりやおりや!!絶頂の中でママになれっ!!」

SKIP

EXIT



【男兵士達】

「チエスト〜♪」

「ぼくら!!!」



「びびゆ〜〜つ☆」

【ミラベル】

「くっつひいいいいイイイ♡♡♡

イクのお♡♡イキながらママになるのおお♡♡♡」



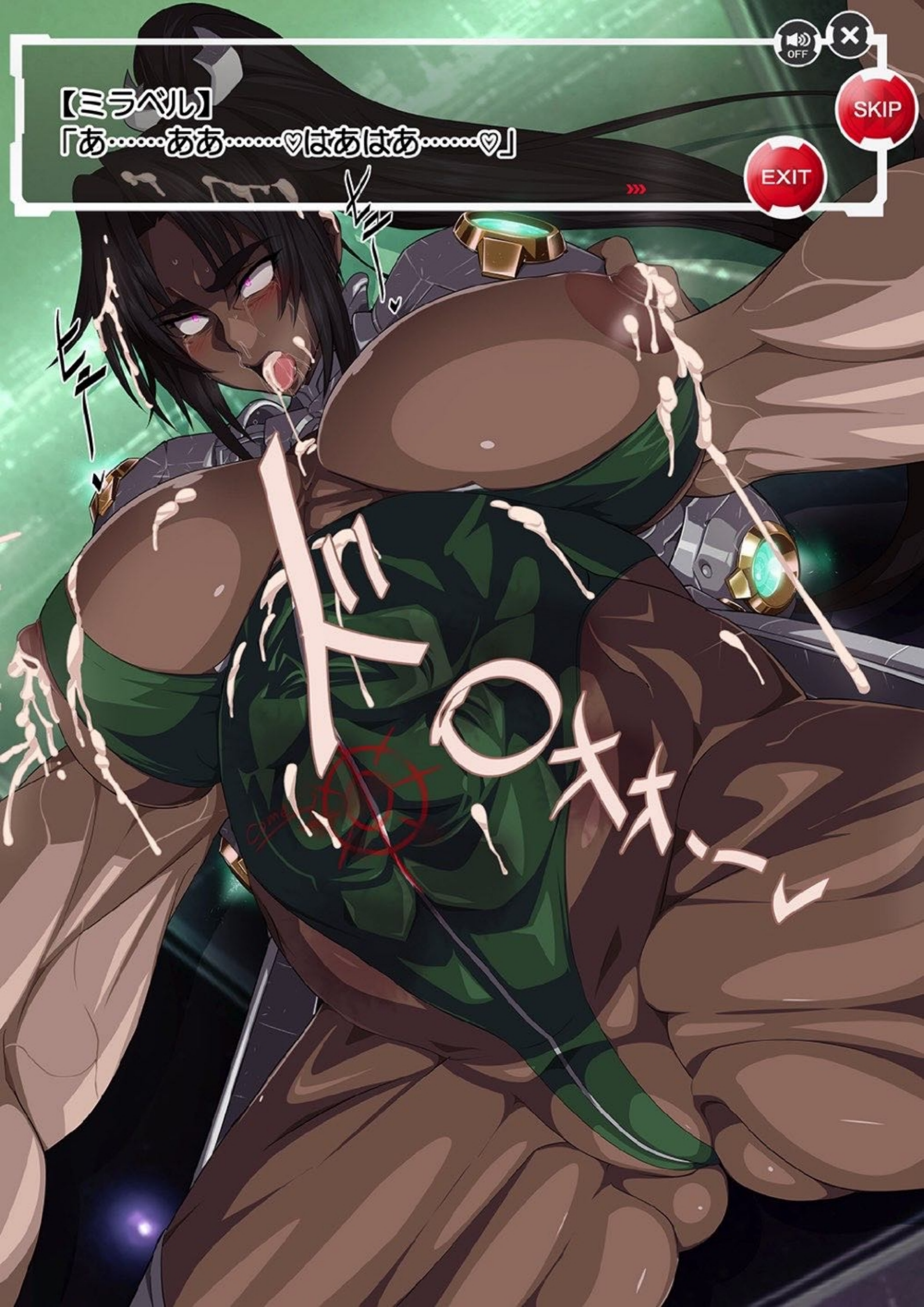


【ミラベル】

「あ……ああ……♡はあはあ……♡」

SKIP

EXIT





SKIP

EXIT

【男兵士達】

「おりゃ!!寝るにはまだ早いぜ!!」

「ずうん!!!」

はげしげ♡



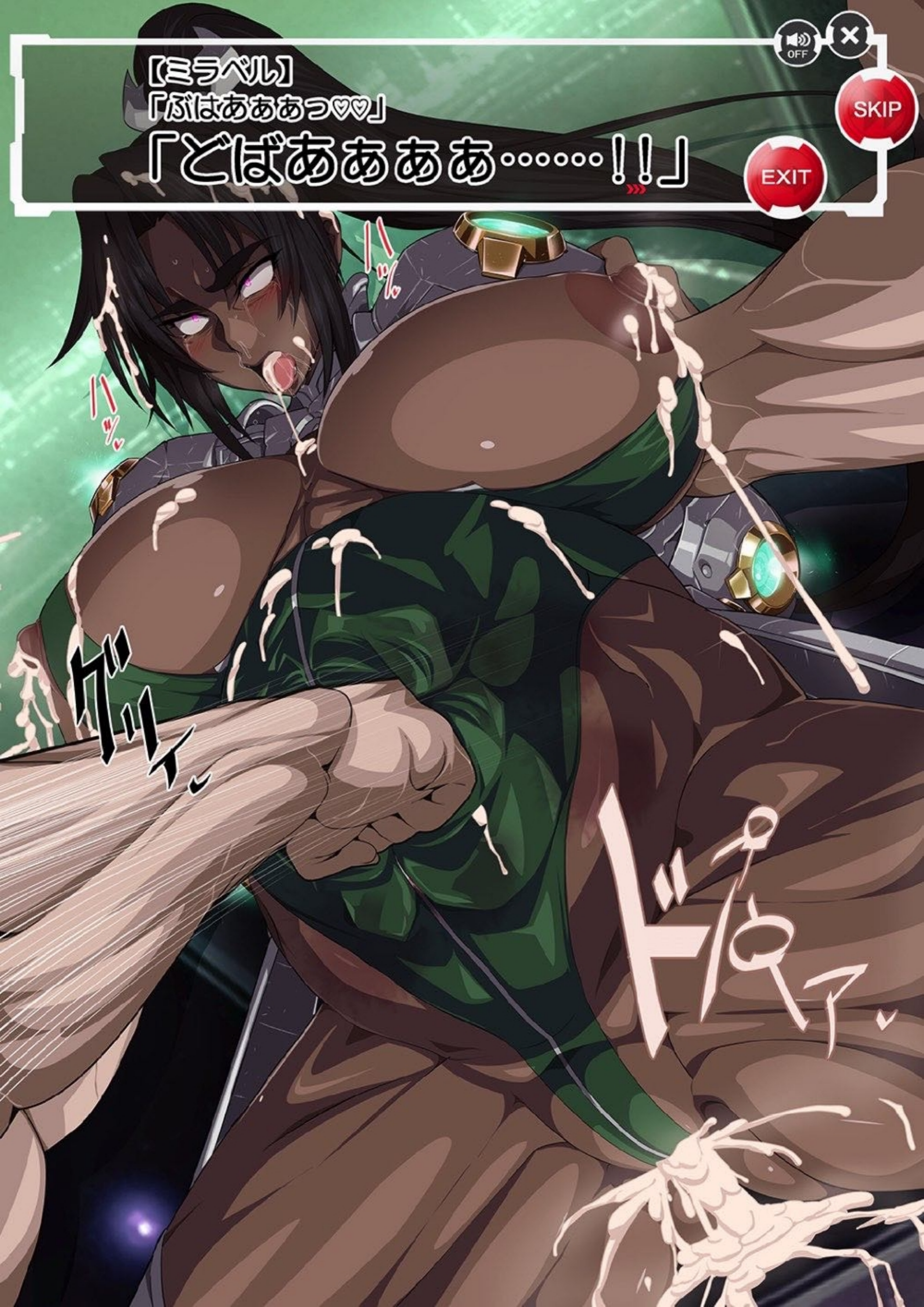


【ミラベル】
「ぶはあああつ♡♡」

「どばああああ……!!!」

SKIP

EXIT





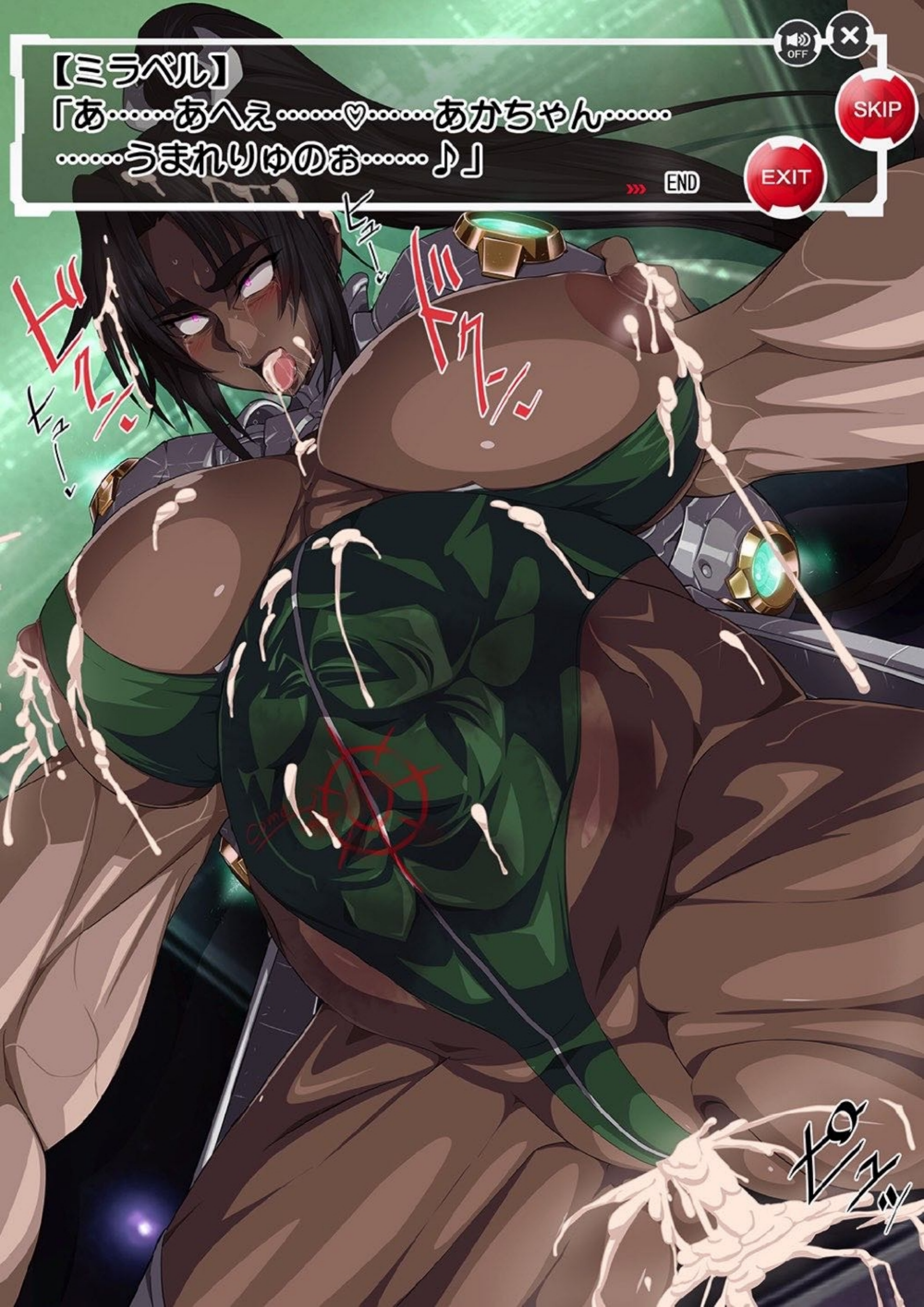
【ミラベル】

「あ……あへえ……あかちゃん……
……うまれりゆのお……♪」

END

EXIT

SKIP





【変態貴族A】

「いやあ……実に素晴らしいですなあ!!」

【老変態貴族B】

「まさか、あの対魔忍ムラサキを生きたまま自由に出来るとは……
実に愉快愉快!!」



SKIP

EXIT



【紫】

「<……この成金下種貴族共が……」

【変態貴族G】

「紫……貴様はもう対魔忍でも人間でもない……!!
今日からお前は夕夕の『おまる』だ!!!」



SKIP

EXIT



!?

【紫】
「おま……る……だと!!!」





【変態貴族C】

「クク……さあて…さっそく使い心地を試してみるかな……」

「よいしょ……つと♪」





V
.....



「ドスン♪」

【紫】
「ooooooooooooo」

SKIP

EXIT



ズキッ

【紫】

「くふう!!」

【変態貴族C】

「ふむふむ、これは便利だ。座り心地も嵌め心地も最高だ!!!」

【変態貴族A】

「とれとれ♪……では私は前の『おまる』で試してみましよう♪」>>>





!?

アッ
ッ

【紫】

「ほほおああ……!!!」

【変態貴族A】

「ハハハ……!!全く生きてそれと一緒にだ!!

……ほれ首から上は動くのだろう?しっかりしゃぶれ!!!」





【紫】
「ぶむふう……くひようふう……こんなやつりやにいい……」

【変態貴族C】

「ほらほら、奉仕に励めよ。でないと屋敷の奥に一生捨て置かれるぞ!!!」





【紫】

「!!!」





【変態貴族A】

「おお……♪急に激しくなったぞ……

やはり不死身の身であつても孤独は堪えるとみえる……」



SKIP

EXIT



【紫】

『くそう……そんな処に捨て置かれていては
永遠に逃れるチャンスが得られなくなってしまう……それだけは避けなければ……』

『ぶくう……ほくろ……むちゆ……』

【変態貴族A】

『いいぞいいぞ。それ……射精してやる♪たっぷり孕めよ♪』





!!

【紫】
「くさくさう??!!」





「どくどくう……」





ズル

ズル

ズル

ズルズル

「ずろおおお〜」



SKIP

EXIT





ニョ

あ・♡

あへえ……♡

【紫】

「はあはあ……」

【変態貴族A】

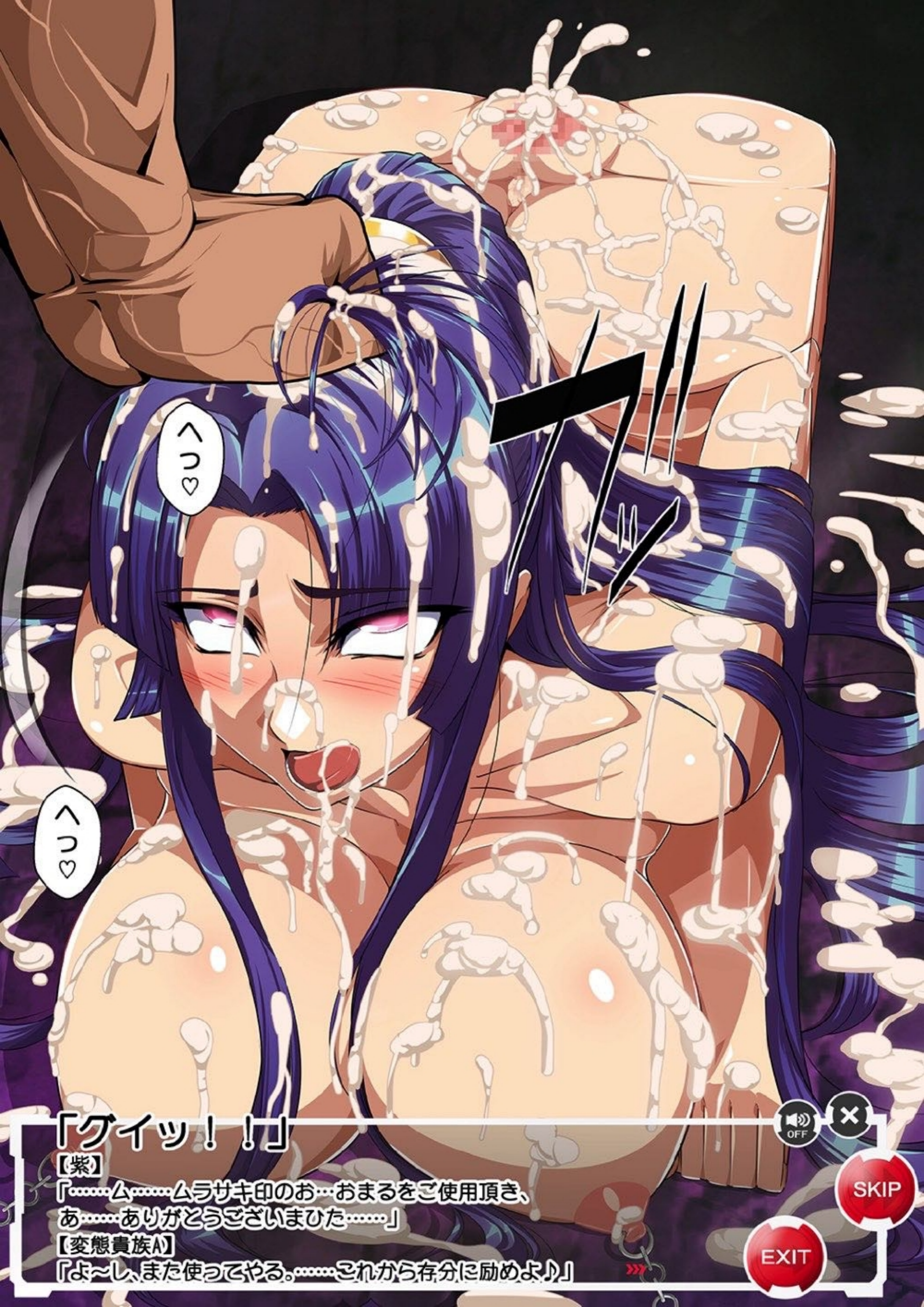
「ほら……使用してもらった後の挨拶どうした？出来損ないなのか？んん……？」

OFF

X

SKIP

EXIT



<U>
♡

<U>
♡

「グイツ!!!」

【紫】

「……ム……ムラサキ印のお…おまるをご使用頂き、
あ……ありがとうございます……」

【変態貴族A】

「よ～し、また使ってやる。……これから存分に励めよ♪」



ひゃん♡

「ばちん!!!」

OFF



SKIP

EXIT

はー♡

はー♡

はー♡

【紫】

「……は……はひ♡ご主人様……♡」



SKIP

EXIT



oo
oooooooooooooooooooooooooooo
oooooooooooo



»»» END





!?

【紙気対魔忍たち】

「……こ……これは一体……?……そ、そこに居るのは七瀬……なのか?」

【舞】

「あはっ、みんな久しぶりい?」





【舞】

「……ねえ、見て見てえ……？ 私ね……オーク様専用のペニスケースになっちゃたの……
おち○ぼ様と一緒にブラブラしてて素敵でしょう？」





【紙気対魔忍A】

「何と言う姿だ……あの七瀬が、オーク如きに……!!!」

【紙気対魔忍B】

「よし!!お前達、仲間を救出するぞっ!!!」

【紙気対魔忍たち】

「ははッ!!!」





【オーク長】

「コイツノチカラ スゴイ……、ドンドンチカラアフレテクル……」





あ♡

【紙気対魔忍たち】
「な？」
「はっ？」





【舞】

「.....♪」



SKIP

EXIT



「ドカツ!!!」
「ボギイ!!!」

OFF

SKIP

EXIT



【紙気対魔忍たち】
「ぐあああっ!!腕が……足がああ……ぐああ!!」





【舞】
「はああ……♡……さすがはオーク様……♡
あの手練れの対魔忍達を一瞬で…♡」





【オーク長】
「……ソコテ ミテイロ……ヨワヨワシイ タイマニンドモヨ……」





【オーク長】
「又オオオツ!!!」





「ググウウウツ……」

【舞】

「~~~~♡♡♡♡」





「ウウウウウウ.....!!」





「ぶびゅうるるるっばびゅるるう〜〜!!」

【舞】

「くほおおお♡ ザーメン来たああああ♡
一発で舞のペニスケースペースパンパンになりゆうう♡♡♡♡」

OFF

SKIP

EXIT



【オーク長】

「ソウレ……オマエたちモ パワーヲ ホジユウダ……」



あは...♡
おこね♡おね♡おね♡

ア

ア

OFF

X

【オークども】
「ゲヘヘヘ.....グルルル」
ゾロゾロ.....

SKIP

EXIT

オオオオオ

【舞】

「あへえ♡♡♡……一斉にオーク様のち○ぽキタア♡」

【紙気対魔忍A】

「あ……ああ……」





【オーク長】

「オマエガ イツカイ イクタビニ……タイセツナ タイマニンヲ ヒトリツツコロス……
イイカ……」

【紙気対魔忍たち】

「……!!!」 「ひっ……!!!」 「くっ……」

【舞】

「しよんなあ……ムリイでしゆう……♡すくいつちやうの知ってるくせにい♡ いじわる～♡」





「ズブシュ!!!」

【紙気対魔忍A】

「？」

「ザワツ!!!」





【オーク長】
「マズ、ヒトリメ……」

【紙気対魔忍A】

「な……七瀬!!頼む、耐えてくれ!!増援もすぐに来る…
必ず体制を立て直して……」





【舞】
「ぐもお……おごお……」



ア
ニ
マ

!!



【舞】
「ぐごお……来た来た二本同時イ……♡
しゅごいのお♡ また……イぎいいい……♡」





「ドシユ!!ズシユ!!!」





「びちゃちゃっ!!」





【オーク長】

「タイマニン……コレジャ センセン タリナイゾ……」
スコシハ タエテミセロ……」



【舞】

「は……はひい♡

仰せのままに……





【舞】

「う～ん……う～ん♡」

【紙気対魔忍たち】

「……」



【舞】

♡「むりいい♡♡♡ もうムリい……あへえ……♡」

【紙気対魔忍B】

「七瀬……っ!!!」



「ピュシユシユツ!!」

.....ゴゴゴ





あへ♡

あへ♡

【オーク長】

「マツタク ゼンゼン モタナカッタゾ.....」

.....ゼンメツダ.....」





OFF X

【舞】

「アハハ……みんなあ……ゴメンネえ?……私……みんなの分もいっぱいイクから♡イキまくるからあ……♡……だからゆるひてね……♡」

【オーク長】

「グフフ……コリスニ ツギノエモノガ キタヨウダゾ……ツギハチャント タイテミセロヨ……タイマニン」

SKIP

EXIT



【舞】

「は……はひ……♡がんばりまふ……♡」





【舞】

.....ぐぶう♡」



» END



キリッ

……

【朧】
「あらあら……♪随分な格好なこと……『元』魔界騎士・さ・ま☆クスクス」

【イングリッド】
「おほ……ろお……っ!!」(ギリッ)

【朧】
「あら、可愛い可愛い♪……にしても、随分と熱そうね？もっと腰を上げないと
自慢のお豆が燃えちやうわよ……」



いっ!!

【朧】
.....ほ~ら こ~んな風に♪」
「グリグリッ♪」



U...U

【イングリッド】

「ぐっ……うう……やめる……貴様!……!!」

【籠】

「あっははっ♪お漏らし!!おもしろーい☆」

「……私はね♡前からアンタが嫌いなのだ☆」

「わかる?…クスクス♡」

OFF



SKIP

EXIT



【イングリッド】

「……………ひと思いに殺せ……………」

【朧】

「慌てないで……………♪……………ここはね、私が経営する売春宿なの♡」

「その中でも一番底辺なのが、このお店♪……………ここにいる娼婦には
どんな事をしてもOK♡NGなしで死ぬまで遊べるお店なの……………♪」





「じゅうう!!」

【イングリッド】

「ぐはあああっっ!!」

SKIP

EXIT



【客】

「ヒヒ……さすがは臈様……容赦ねえなああ……♪」

【臈】

「あら失礼…お客様が要らしてたのね…♪……今夜は何をしてお楽しみに……？」

【客】

「へ…へい…♪今日は朝から魔族狩りをして楽しんでおります……

今から一本一本の抜歯と火刑の方を楽しもうと……」





【朧】

「……あら？面白いじゃない♪
……だったら私も一緒に尋問してあげる♪」



SKIP

EXIT



「ドガッ♪」





【イングリッド】

「お……朧……やめ……そこは……だめえ……?」

【朧】

「こいつはね……根っからのマゾなのよ」

SKIP

EXIT



!!
.....

【朧】

「.....ほら.....その証拠に♪」

♪



SKIP

EXIT



「ぐぼん」

【イングリッド】

「くひや☆い……いきにやりおしりいい……♡♡」



SKIP

EXIT



【臙】

「ほらほら♪とくとくってケツ穴に特製のザーメン浣腸してあげると、大層喜ぶんだから♪
……ほら♪早速イッたあ♪」

【イングリッド】

「むほおおおっ♡入ってくるう?ケちゅあなにいいい♡♡♡」





【客】
「ハハハ!!これはすごいですな、まるでカエルの腹の様!!」
【豚】
「ええ♪ええ♪もっと惨たらしく惨めたらしくグチャグチャに虐めてあげてくださいませ♪
その方がこの豚魔女は喜びますわ♪」
【イングリッド】
「ふごっ……げこお……!!も……むりい!!お腹裂けちゃう……戻らなくなっちゃう……?」





【朧】

「なに音を上げてるの？
お前ならここにあるバケツあと4杯はいけるでしょう？」



!!

SKIP

EXIT

やひっ!!
やめ……

オッ
オッ

「グリグリっ」



SKIP

EXIT



ア
オ
イ
エ
ウ

【イングリッド】

「ふあああ……♡おぼろお……やめえへ……♡」





「じゅぽん♡」

【朧】

「ほ～ら、入った~~~~♡♡」



.....数時間後.....





【イングリッド】

「かへ……あへあ……♡……もう許ひて……おぼるおさまあ……
もう私を……こるひてえ……騎士の魂(こころ)が在る内にコロしてくらはいいいい♡」





【籠】

「ハハ……騎士の魂……!!散々アヘツラ晒してイキまくっておいてよく言うわ……!!」

【籠】

「でも……だ・め♪……言っただでしょ?……私はお前が嫌いなもの……♪
ずう~とずう~と許さないし、ずう~とずう~と殺さない……
……私が永遠に虐めてあげる……♪」





【朧】

「それに……あんなアサギにしか興味のない、ムツリブラックなんかより全然素敵でしょ？」

【イングリッド】

「……しよんなあ……ブラック様……わたし……もう……」





あ...♡
あ♡♡♡

【朧】

「ほらほら♪もう一本追加よ♪」

OFF

X

SKIP

EXIT



【イングリッド】

「おぼろしやまあ……もうやめへ……♡
ぎよぶばあああつつ♡♡♡♡



» END

うう
うう

【フォーリア】

「うう……ぐ……うう……」

……こんな事をして……ただじゃ済まさないよ、アンタ達……」




OFF



SKIP

EXIT



【少年】

「アハハハッ……♪元気いなあ……低級サキュバスのくせに♪
生意気にも健全な少年を誘惑しようだなんてするからからこうなるのさ♪」

【フォーリア】

「……ふん!!まだ毛も生え揃ってないようなガキが生言ってるじゃないよ!!」



SKIP

EXIT

わ
あ
あ

||
||
/ \
/ \
/ \
/ \
||
||

【少年】

「おねえさんだって似たようなもんじゃない、
……ほーら♪丸見え～☆ の前で恥ずかし～☆」

【フォーリア】

「くっ!!…くそ!!……やめろっ!!このガキ共っ!!」

かあっ…



SKIP

EXIT



クワッ
クワッ

【少年】

「ほ～ら☆大好きなチ○ポですよ～☆……低級サキュバスにはこれで充分だよね♪
ちょっとばかり泥ついてるけど、構わないよね？」

【フォーリア】

「お……おいつ?!……お前……何する気だ……？」

【少年】

「……………せーの♪」

OFF



SKIP

EXIT

ずっど
ん

ッ

【少年】
「ずっど〜〜ん♪」
【フォーリア】
「〜がはあっ♡♡♡♡♡」



プレイバック

【少年】

「あれれ～♪メス穴に足突っ込んだら、勢いで変なのが出て来た～♪」

【フォーリア】

「お……おおお♡……くひよおお……何てことを……しゆるんだあ……♡」

【少年】

「ハハハッ♪何コレおもしろ～い、突っ込むとピクンピクンする～♪」



OFF



SKIP

EXIT

【少年】

「ほお～ら♪おねえさんのスケベ汁でギタギタ～～♪……舐めて舐めて♪」

【フォーリア】

「ふご……くう……♡……顔にこしゆりちゆけるなあ……♡」ペロペロ

【少年】

「ハハハッその調子その調子♪」



SKIP

EXIT

フッ
……

【少年】

「あれ〜♪おねえさん……なんでまだそんなにチ○ポギンギンなの〜?」

【フォーリア】

「くっ……!!どうでもいいだろっ!!さっさと外せ!!この変態野郎!!」

【少年】

「ハハハッ♪元気元気♪じゃあゲームしよーよ♪今からするゲームに耐えられたら、解放してあげる☆いくよ♪……じゃ、自分のチ○ポ啜えて♪」



オ
ほ
お

【フォーリア】

「はあ？……バカか？そんな事する訳……なひ？ や…やめろ……くももお……がぼっ?!」

【少年】

「ほらほら♪早く早く〜♪皆で手伝ってあげるから♪
よいしょっ……と……出来た出来た☆……じゃあ外れないように固定して……っと」

【フォーリア】

「くもっ?!」



SKIP

EXIT



【少年】

「じゃ〜ん♪サキュバスのセルフオナホ 完・成……っと♪
これならいくら射精しても汚れないし最高の形だとは思わない？」

【フォーリア】

「ふーっ?!ふー?!」(なにが最高だ!!こんなじゃ息もままならねえ……やばいぜ……
このまま射ちまった日にや自分のザーメンで窒息しちまう……!!)





女体

【少年】

「はい♪アナルにもプレゼントだよ♪準備オッケー♪」

【フォーリア】

「ふーっ?!ふふー?!」(な……なんだ……なにをする気だ、一体?)



SKIP

EXIT



【少年】

「ほらほら、しっかり濡らして♪鼻水でもなんでも付けとかないと辛いだけだよ？」

【フォーリア】

「ふぐーっ?!ふぐぐー?!」(な……なにを言っている!!何をやる気だ、こいつは……)

SKIP

EXIT



いっくよ

【少年】

「じゃ♪いっくよ〜☆☆」

【フォーリア】

「ふーっ?!ふー?!」(おい……まさか……やめろ……おい……!!)



OFF



SKIP

EXIT



【少年】
「ちゅど〜〜ん☆」
【フォーリア】
「ぶぶう♡♡♡♡♡〜〜っっ!」



フーッ

グニャッ!!

ぶぼぼおっ♡ ぶぽん♡

【フォーリア】

「ふーっ♡ふ~~~~♡」(射る……射…ちまってる…!!息が……鼻から息が……

ごふう……腹からも逆流してるうう♡)

OFF



SKIP

EXIT



ワァァァァァ

【少年】

「あ〜あ……呆気ないの〜♪おねえちゃん、罰ゲーム決定だからね♪」

【フォーリア】

「ふぉご♡……ふぉご♡」(息が……ゴク……ゴク♡息が出来なひ……じぬう〜♡)



SKIP

EXIT

十ヶななな。

【少年】

「そろそろ呼吸が限界そうだから解いてあげるね……♪

まあ……☆そのまま逝かせちゃうってのも悪くはなかったんだけど、それじゃ普通だしね♪」

【フォーリア】

「ごぶっ♡……ごぶぶ……へずる……♡」




OFF



SKIP

EXIT



【少年】

「すごいすごい♪あの量、全部飲み切ったんだね♪おかげで全然汚れてない♪」

【フォーリア】


「ぷはあ……♡は~~~~……は~~~~……♡

げぶう……許してえ……私が悪かったでしゅう……もう許してくだしやい……♡」



SKIP

EXIT



【少年】

「許すも何も……おねえちゃんは負けたんだから、罰ゲーム決定☆
今日からここでみんなの公衆便所だからね♪」

【フォーリア】

「へ……？しよ……しよんな……………みんなの便器って……？」



SKIP

EXIT

女便衆公

キキ

【少年】

「飽きればちゃんと消してあげる♪それまでせいぜい僕らに媚びるんだね♪はい、印☆」

【フォーリア】

「しよんなあ……♡……まだ死にたくない♡……死にたくないよお……♡」

こんな惨めな姿で死にたくないよおお……♡」

OFF



SKIP

EXIT

「おはよう」

「おはよう」

「おはよう」

【少年】 ♡
「じゃあ、せいせい足掻くんだね♪
……おっと……なんだかもようしてきたみたい♪ほらほら♪いっくよ〜☆」
【フォーリア】
「ふごお♡……ふごごごごおおおっ♡」
(また息が……ゴク……ゴク♡また息が出来なひ……♡)



たぶんたぶん
公衆便女

【少年】

「すごい、すごい♪おねえちゃん素質あるよ♪全部終わるまでそのままそのまま♪」

【フォーリア】

「がぼぼぼ♡……ぎゃぼぼっ♡ ご……ぼん」

OFF

SKIP

EXIT

女便衆公

ふ
ひ……

【少年】

「ふ~~~~……♪出た出た☆……今日の処はこのまま生かしておいてあげるね♪
おっと……まだ飲んじゃ駄目だよ♪」

【フォーリア】

「ごぼお♡……おご♡」(しよ……しよんなあ……息が……口からも溢れりゆう……♡)



OFF



SKIP

EXIT

女便衆公

「ん」
「ん」
「ん」

【少年】

「足拭きマットがないから、これでいいや……♪

……また気が向いたらみんなでここ寄るから♪その時までこのままとキープね♪」

【フォーリア】

「へ……♡しよんなあ♡……このままとキープだなんへ……♡」



SKIP

EXIT

女便衆公

【少年】

「こぼしたら消すから♪それとまた罰ゲーム追加ね♡」

【フォーリア】

「ヒッ……ふあ……ふあい……♡ が……がんばりゅありまふうう……♡」

END >>>

EXIT

SKIP

OFF